

こんにちは

会社訪問記

地元の皆様に密着し、
お客様と処分場を結ぶパイプ役でありたい。

株式会社トヨジン

(愛知県豊橋市)

豊橋市を中心に一般廃棄物・産業廃棄物処理に取り組まれている株式会社トヨジンにおじゃまし、長崎専務取締役役に廃棄物処理にかける意気込みを語っていただきました。

— 創業は何年ですか。

長崎専務取締役（以下長崎に略）『昭和43年です。最初は豊橋塵芥処理センターという社名で一般廃棄物の収集運搬からスタートいたしました。産業廃棄物処理を手がけたのが10年後の昭和53年です。そして、昭和57年に現社名に変更し現在に至っています。』



長崎専務取締役

— 事業エリアを教えてください。

長崎『東三河地域が中心です。他県では静岡県浜松市、三重県で許可をいただいています。』

— 貴社は収集運搬を行っていらっしゃるようですが、どのような立場で業に取り組まれていますか。

長崎『収集運搬業は、単に廃棄物を運ぶ仕事ではないというのが当社の考え方です。お客様と処分場を信頼の絆で結ぶパイプ役を務める仕事は、収集運搬業だと思います。お客様に処分場や廃棄物処理に対する適正な情報をご提供し、処分場には誠実に確実に廃棄物を搬入します。運搬についても合理的かつ適正に行うことによって、お客様にコストの負担をかけ過ぎないように常に努力しています。過積載問題についても、お客様と十分に議論させていただいて不適正な処理がなされないよう特に気をつけています。』

— かなり徹底していらっしゃるんですね。適正処理に対する独自のガイドラインなどはお持ちですか。

長崎『廃棄物処理に対する自主規制があります。これを頑なに守り、お客様にご迷惑をかけないことが全従業員の基本姿勢になっています。また、お客様には自社の廃棄物がどのように処理されているのかを知って



社名/株式会社トヨジン 所在地/愛知県豊橋市石巻本町字小深田3番地の1
代表者/鈴木昭二 創業/昭和43年 従業員/26名 TEL./0532(88)0534
事業所/本社 営業種別/収集運搬 取扱物品目/燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物残渣、ゴムくず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、鋸さい、建設廃材、ダスト類、感染性産業廃棄物

いただくために、契約前に必ず処分場を確認していただくようお願いをしています。』

— では従業員教育について聞かせてください。

長崎『当社は、幹部育成に重点をおいて教育を行っています。産廃部と一廃部に分かれた部署のチームリーダーの指導力、法律の知識や接客法などを十二分に勉強させ、それぞれのチームをまかせています。従業員の成長イコール会社の発展だと思います。毎月幹部会を開き、資質の向上に努めています。』

— 最後に今後の展望を教えてください。

長崎『取扱っている廃棄物のリサイクル方法を確立するのが今後の課題であり、急務だと思います。ですから、リサイクルを行っている方々やリサイクル技術を持つ企業との情報交換を積極的に行い、ノウハウを蓄積して少しでも減量化や有効利用の一端を担えたらと考えています。また、最終処分場の確保や中間処理施設の設置にも果敢に取り組んでいきたい。廃棄物は誰でも運べますが、プロ意識がなくてはダメです。やはり収集運搬のプロ集団でありたいですね。』



社内